

# 問 固定遊具つき公園の建設再検討予定は

# 答 当分は既存施設での対応を



田中麻乃議員

【固定遊具付き公園の建設再検討について】

**問** 2013年12月に、村内に固定遊具つき公園の建設を求める住民有志の会が、要望書と1336筆にもおよぶ署名を村へ提出した。その後の村の対応は。

**答** 固定遊具の設置については、充分とは言えないまでも平成26年度には子育て支援ルームに遊具を設置し、少しずつ要望に応えている。

**問** 各年齢に適した遊具を備えた公園というのは、村が掲げる「子育て」と「教育」のワンストップサービスを提供する

といった村の姿勢からも重要だと考えるが、具体的に建設する予定はないのか。

**答** 厳しい財政の中ではあるが、村の子育てのために何が大事であるか勘案しながら前向きに検討していきたい。

**問** 大出公園計画からすでに10年経過し、これだけ固定遊具付き公園を求める声が多い中で、都市公園である大出公園への遊具設置再検討はないのか。

**答** 村内の都市公園は大出公園のみであるが、景観を楽しむ公園のため遊具設置は考えていない。当面はグリーンスポーツの森や支援ルームなど既存の施設で対応していただきたい。

**問** お母さんたちが望む公園というのは幼児から児童の幅広い年齢が遊べる、兄弟がいても楽しめる公園である。

既存施設での対応となれば既存施設の遊具をもっと幅広い年齢に対応可能にするため設置すべきでは。

**答** 必要性は充分認識しているので、検討していきたい。

## 問 全天候型施設の整備予定は

**答** 道の駅を含めた複合型施設として検討

【雨の日対策の屋内施設の検討について】

**問** 白馬村子ども・子育て支援事業計画のアンケートの中で「白馬村の子育ての環境や支援への要望」として雨の日、雪の日に遊べる施設整備が一番多い結果である。この結果を受け

て村はどのような対応をしているのか。

**答** アンケート結果は大規模施設の要望かと考えている。現段階では具体的な整備は行っていない。

**問** 同じ雪国である新潟県長岡市では、都市公園の中に全天候型の広場と子育て支援施設を一体に整備した公園を実現。財源は横断的に交付金をうまく使い確保している。村でも工夫し検討しては。

**答** 自主財源が少ない中で事業を進めていく上では、

色々な交付金を組み合わせながら、庁内でも横断的に進めていくことは大事だと考えている。

**問** 公園のような福祉施設における民間業者との連携による収益向上への取り組みについてはどう考えているか。

**答** PPP・PFI方式<sup>注</sup>・指定管理者制度の中で対応可能と考えている。

※注 PPP・PFIとは公共施設等の建設・維持・運営等を民間の資金、経営能力などを活用して行う手法



(写真参考) 長岡市子育ての駅てくてく：全天候型施設を整備した都市公園。(こそだてのえきfacebookページより)